持明院 「はすの会」 事務局

弘法大師空海が愛

し、愛された高野

株式会社高野山寺月会大阪駅前第一ビル9階 Н メール: renraku@hasunokai.jp 大阪市北区梅田1-3 5 3 0 A ... 0 6 -6 3 4 8 -0 1 7 0 話:06-6348-0530 www.hasunokai.jp Ó 0

はすの

令和 4 年(2022年) 3月1 日発行 平成8年(1996年)11月1日初版発行

学の道場の建立地として、その下賜自らが開宗した真言宗の修行・修 を嵯峨天皇に願い出、 自らが開宗した真言宗の修行・ 愛した高野山を弘仁七年 (816) 弘法大師(空海)は、生涯こよなく

地でありました。 覆われ、 て1200年も以前 利なところではありません。 に在り、 を得て高野山 海拔90 は遠く、 高野山 また旧都奈良からも離れ は、 今日でも決して交通に便 歩行も困難 0 メートルにも及ぶ山 皇居のある京都から は開創されました。 な深 には原生林に Щ 国幽谷の まし 上

難 しょうか。 派を開 弘法大師は、 創 の場所に選ばれたので なぜ、このような

弟 共に最適の場 教を目指された弘法大師が行 最適の地であったこと。(実践的仏 生を利済する為に自らをはじめ子 る「上は国家を鎮護し、 まず第一 (修行者) は、 所 修禅の場所」として 下賜を願う文中にかり =仏の世界である 下は衆

た霊鷲山

こと=吉いできごとの前兆とし

と実感されました。)

ことを既に熟知され 駆 われます。 け巡った苦難の修行時代から高 第二 山は自分の理想の叶う地である 一の理由 は、 若き頃、 てい た、 Щ と思 野 を

直ちに勅許

喧騒を避ける理想の距離にある地弟の修行の妨げになる都の栄華や だと実感されていました 平原の幽地あり、名づけて高野 に西に向って去ること両日にして 「吉野山より南に行くこと一日、 う・・・」と記されています。 弘法大師 前述の下賜を願う文中に・・・ は、 、この地を自らと子 更 کے

神がはなる。 霊山として有名でした。 修験者の聖地、 法大師開創 めて霊的な場所です。 霊鷲山(次々と奇瑞が起こっぱがいまれい過さまと深い関わりのあ 第三に、 そして熊野三山などと共に (神々が 高野山 の以前から吉野 Щ 住 岳信仰 <u>t</u> は今日に続く 高野山 0 Щ 0 山 対 は弘

起こる不思議な現象

分拝察されます。 るとも劣らない霊力を、 それにも似た、いやそれにも勝 高野山に感知され ていたと十 弘法大師

し合い、扶け合って、苦難の道を乗 対象として、 日の繁栄に結びついてきました。 り越え、 ることでしょう。 さっています。 められ、 誇る世界遺産に登録されました。 の霊場と参詣道として、 とれ、 なお、 お大師さま、お大師さまと崇め 2004年高野山 以来、 の拠りどころとして存在し続け 親しまれた弘法大師は 一大宗教都市として、 世の人々を見守ってくだ 大師と高野 生身を高野山奥之院に留 これからも私たち そして共に信 は Ш は共に影響 わが 国 仰 Ш 0 が 地

南無大師遍野金剛なおだいしへんじょうてんごう

# 四恩」の有難さを実感して生きる



いくことばがあります。 れる様に、また一方、死語になって 若い世代に新しいことばが生ま

知っておかねばならない大切なこ とばで、私たちが生きていく上で、 それは、ご恩、お陰さまというこ

います。

使われている話しことばからは、殆 んど使われず、死語になろうとして きことばでは散見できますが、日常 ご恩やお陰さまは、手紙などの書

います。

ばもよく使われておられました。 と書きます。自分が生まれてきて、 の方々は、日頃から、どちらのこと 恩という文字は、 戦前の教育を受けていた高齢者 原因の因に心

> ではないでしょうか。 ておかねばならない心、 の原因を知る心であり、 今ここに生きて存在している。 また知っ それが恩・ そ

その父母や私たちは、また社会や 国家のお陰で安全に生活ができて 父母が成育してくれたからであり、 る」と、教えておられます。 社会の恩、国家の恩、三宝の恩であ べき四恩がある。それは父母の恩 私たちが、いま生きているのは、 弘法大師(空海)は、「人が守る

践・修行者をいいます。 は説かれた教え、「僧」は仏道の実 である大日如来様のことで、「法」 のことを謂い、「佛」は宇宙の真理 宝とは、「佛・法・僧」の三つの宝 よって調和が保たれています。 そしてすべてのものは「三宝」に

ご恩を返すことの大切さを学びま 学校や社会で、この恩を知ること 話や「鶴の恩返し」等の民話を国語 した。「忠犬ハチ公」が代表する実 戦前、 日本人は男女の区別なく

> ます。 教わったとうかがっております。 や修身の課目で、ご恩の大切さを からだと思います。 らの言葉は死語になろうとしてい と、恩返しの大切さを教えていない 現在、若い世代の人々には、これ 戦後の教育では、恩を知るこ

やご恩を実感して生きていけば、よ りよい未来が開けてくるのではな がたさを実感し、父母はもとより ているすべての人々の支え(お陰) 友や仲間を始め、自分の関わり合っ でしょうか 弘法大師の教え「四恩」のあり

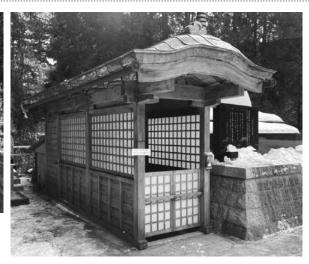
## 仏舎利宝塔出入口 階段屋根改修工事

経過しています。 仏舎利宝塔は、 建立以来35年以上

として重要な階段屋根は、雪・風 茅葺の老朽化損傷が進行し雨漏りが 雨を凌いでくれていました。近年、 地下の礼拝室、安置室への出入口

> る様、外観にも留意し、仏舎利宝塔 これから永代に亘り会員、見学者の のある銅板葺きに改修致します。 の景観価値を損なわない様、耐久性 方々が供養参拝に訪れても安心出来

発生するようになりました。其の為い





妻側:蓑甲及びはぜ曲線部



頂きました。 〈永代供養〉の説明と仏舎利宝塔 のご案内をさせていただき、早速 た。

のですが、
できました時にお教えいただいた
にいいのですが、
を日、供養内容を打合せの為大

『昨年十一月に資料請求をし、その後各社の〈永代供養〉と比較検の後各社の〈永代供養〉と比較検すした。子にいきました。従って当日にお学にいきました。従って当日にお申込みの意思をお伝えさせて頂くった。

そのお心遣いをとても嬉しく思いれ、

『高橋様でしたら、はすの会の『高橋様でしたら、はすの会のはお話させて頂いています。時にはお話させて頂いています。時にはおがでもごう齢ですが毎月ご参拝が高橋様でしたら、はすの会の

『実は、高橋さんとはお友達で、私たちがこの〈永代供養〉を調べて見つける前から既に高野山で貴会員として〈永代供養〉をされて、スタッフの皆様がとても親切で、ご縁を頂いて本当に良かった。と、おっしゃっていました。今回私たちが選んだ〈永代供養〉と同私たちが選んだ〈永代供養〉とのカタログをみて知った次第です。自宅に遊びに来られた時に、貴社のカタログをみて知った次第です。

ていただきました。一層心強い思いです。』とおっしゃっ

**うに依頼している**。』と **でいただきますが、法要後実妹宛** ていただきますが、**法要後実妹宛** でいただきますが、**法要後実妹宛** 

『高橋様には安心してまだまだお元気でお過ごしいただければと、お元気でお過ごしいただければと、なって良かったと、心から思って頂けるようこれからもお勤めさせてけるようこれからもお勤めさせているようこれからもお

になります。 永代供養案内事業は発足以来28年 有難いことに、別格本山持明院

で先祖様、故人様のご供養が永代に途絶えないお墓、自身の永代 供養先にとお求め頂きました会員 様は1500を超えます。もちろ んこれからも引き続きご安心頂け るよう勤めて参ります。

渡し等の案内以外に、より皆様に様の法要やご参拝、ご遺骨の受け今回、はすの会事務局は、会員

婦共々嬉しく思い、

友達と一緒で

喜んでいただけ、またご安心頂けるサービスを提供できたらと、みを皆様にお知らせ致します。

# お預かりサポート)

をご提案いたしました。 亡くなり後預かりましたお手紙を 送りたい方への手紙をお書きい 紙)、エンディングレターお預かり まいりますが、今回は高橋様から 手伝いができるよう準備をして だき、はすの会でお預 サポート(会員様がお元気な時に も依頼頂いております(妹宛の手 悩みのご相談や充実した終活のお 方々を救っていただいています。 を行っております。人生での悩み をしたためてお大師様に送る活動 しみ、楽しいこと、うれしいこと まへの手紙】であなたの悩み、 最愛の方にお届けするサ ためのサポートとして今も多くの や不安を取り除き良き人生に導く 将来、はすの会でも会員様のお 高野山金剛峯寺では、【お大師さ かりし、 -ビス) 書 お た

の気持ちや、お礼、大事な約束、生前お伝えできそうにない感謝

声援などをお手紙にしてはすの会 にお預けしてみませんか?

気軽にご相談下さい なると思います。 とても素晴らしいサプライズに 関心ある方はお

限り代筆もさせていただきますの 事が難しいと感じる方は、できる 思いはあるけど手紙にまとめる 是非お申し付け下さい

き宜しくお願い申し上げます。 提案をさせて頂きますので引き続 ております。 縁は〈永代供養〉の提供だけでな ております。これからも魅力ある して繁栄していく事になると思っ いお付き合いが永遠に続くこの し頂く為のお手伝いの機会と思っ はすの会事務局と会員様とのご 皆様の人生を充実してお暮ら 事業をより盤石に、そ そして会員様との深



出せる状況が見えてこない中、 症が長いトンネルに入り中々抜け ず今までと同じように皆様参列 度の春季合同法要も昨年同様会員 当然のことながら経済活動も大き 等重点措置」が適用され、3回目 る現状で各都道府県に「蔓延防止 種のオミクロン株が急拡大してい どうかご辛抱頂きたいと存じます。 願い祈っておりますのでそれまで のもと合同法要が開催出来る様に はすの会としましても近い将来必 本堂への入場は控えさせて頂きます。 様の健康と安全を最優先に考え、 な制約を強いられております。今年 のワクチン接種が急がれています。 つきましては 会員の皆様方、新型コロナ感染 持明院住職の竹内大僧正および 新

りはご遠慮願います。 持明院館内並びに本堂への立ち入 院本堂にてはすの会各家ご先祖様 への法要は恙無く挙行致しますが 3月21日12時30分定刻通り持明

> 覧の程宜しくお願い致します。 載期間令和4年6月末日迄 画配信する予定でいますので、 後日はすの会ホームページにて動 またこの度の春季法要の模様は

> > 7

·日時

では、これからも会員様や高野山 ので、宜しくお願い申し上げます。 お参り頂けるよう努めて参ります へお越し頂きます方に、安心して 別格本山持明院はすの会事務局



## (掲 閲 令和4年3月21日(月·祝)

12時30分より

# 持明院・本堂

▼場所

### ◆ご参加

# 会員の皆様のご参加は ご遠慮ください

(持明院の僧侶だけで執り行います)

)当日は仏舎利宝塔への参拝 は可能です。

(10時~15時30分)

)法要時間帯に持明院に るよう、 堂前(外)にてご焼香頂け 様に於かれましては、 ご焼香を希望される会員 きます。 ご案内させて頂 7